

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

設定・運用は



商号等 株式会社広島銀行  
登録金融機関  
中国財務局長(登金)第5号  
加入協会 日本証券業協会  
一般社団法人金融先物取引業協会

ブラックロック・ジャパン株式会社

商号等 ブラックロック・ジャパン株式会社  
金融商品取引業者  
関東財務局長(金商)第375号  
加入協会 一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会  
日本証券業協会

## ブラックロック天然資源株ファンド

追加型投信／海外／株式

\* 課税上は株式投資信託として取扱われます。

2014年2月作成

## 目次

● ファンドの特徴	.....	P2 ~ P3
● 資源需給のミスマッチ	.....	P4 ~ P7
● 資源価格と資源株	.....	P8 ~ P9
● 資源株の投資魅力	.....	P10 ~ P12
● 当ファンドが着目する投資セクター	.....	P13 ~ P17
● 運用チーム体制	.....	P18 ~ P20
● ファンドについて	.....	P21 ~ P26
● ファンドのリスク・お申込みメモ	.....	P27 ~ P31

# ファンドの特徴

1

## 世界が注目する資源株(エネルギー関連株、鉱山株および金鉱株)に実質的に投資します。

資源株とは、石油や天然ガスを始めとするエネルギー資源や、アルミニウムや金などの鉱物資源を採掘、精製、販売する資源に関わる企業(資源企業)が発行する株式のことを指します。

ブラックロック天然資源株ファンド(以下、「当ファンド」といいます)は、  
ファンド・オブ・ファンズ形式で3つのファンドに分散投資します。

約40%

### 世界の鉱山株

鉄・銅・アルミニウムなどを  
採掘、精製、販売する企業の株式



約40%

### 世界のエネルギー関連株

石油・天然ガス・石炭などを採掘、  
精製、販売する企業の株式

BGF  
ワールド・  
マイニング・  
ファンド\*2BGF  
ワールド・  
エネルギー・  
ファンド\*1BGF  
ワールド・  
ゴールド・  
ファンド\*3

約20%

### 世界の金鉱株

金を採掘、精製、販売する企業の株式



\*1 正式名称は、「ブラックロック・グローバル・ファンズ  
ワールド・エネルギー・ファンド クラスX投資証券」です。

\*2 正式名称は、「ブラックロック・グローバル・ファンズ  
ワールド・マイニング・ファンド クラスX投資証券」です。

\*3 正式名称は、「ブラックロック・グローバル・ファンズ  
ワールド・ゴールド・ファンド クラスX投資証券」です。

※ 投資対象ファンドは、委託会社の判断により、適宜見直しを行うことがあります。また、各投資対象ファンドへの投資割合は、資金動向、市況動向、および各投資対象ファンドの収益性・流動性等を勘案して変更することができます。

## ファンドの特徴

ファンドの特徴

2

## エネルギー・鉱物資源・金に精通したプロ集団「天然資源チーム」の運用力を活用。

投資対象ファンドは、ブラックロック・グループの運用会社に属するブラックロック・インベストメント・マネジメント(UK)リミテッドの経験豊富な天然資源チームが運用を行います。

## 運用チームの特徴

- 地質学者や地球物理学者など地質学・鉱物探査学等のスペシャリストにより構成。世界中のエネルギー企業・鉱業企業・金鉱企業の油田・鉱山を訪問し、専門的な知識と経験を生かして徹底した調査活動を実施。
- チームの運用総額は2013年9月末現在、239億ドル(約2.33兆円)<sup>\*1</sup>。資源株運用において世界最大級の運用資産残高を誇る。
- 高い運用実績が評価され、これまで100を超える数多くの賞を受賞<sup>\*2</sup>。

<sup>\*1</sup> 円換算レート1ドル＝97.75円を使用(2013年9月末の三菱東京UFJ銀行公表仲値を使用)

<sup>\*2</sup> 当該評価は運用チームの過去の一定期間の実績を分析したものであり、当ファンドの実績を評価したのではなく、また将来の運用成果等を保証するものではありません。

※主要投資対象ファンドの運用プロセスは変更となる場合があります。

3

## 外貨建資産については原則として為替ヘッジは行いません。

4

## 原則として、年4回の毎決算時において収益分配方針に基づき、分配します。

原則として2月20日、5月20日、8月20日および11月20日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、収益分配方針に基づき分配を行います。

※ 分配金の金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。運用状況によっては、分配を行わない場合もあります。

分配金支払い  
のイメージ図



## 資源の需要面、供給面の比較

資源需給のミスマッチ

現代の世界を取り巻く資源の需給は、需要が高まってきた半面、供給面の不安を抱えており、需給格差は今後もさらに拡大する可能性が予想されます。資源の需給に与える要因としては、例えば次のような点が考えられます。

## 資源の需要面

中国・インドを始めとする新興国の中長期的な経済成長

投資資金の流入

新たな投資需要

## 資源の供給面

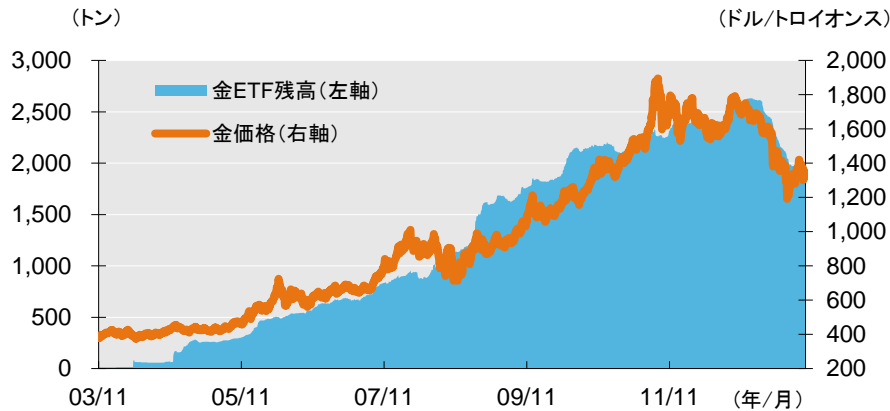
限りある資源の供給量

金融危機による大幅な設備投資圧縮

資源ナショナリズム

安全対策を考慮した慎重な生産計画

## 金ETFの残高と金価格の推移



出所:GFMS、金ETFには現物ETFや指数連動型のものがあります。  
期間:2003年11月3日～2013年9月30日(日次)

## 鉱物資源の可採年数

	鉄鉱石	銅	鉛	亜鉛	ニッケル
埋蔵量*1 (百万トン)	170,000	680	89	250	75
年間生産量*2 (百万トン)	3,000	17.0	5.2	13.0	2.1
可採年数*3	57	40	17	19	36

\*1 埋蔵量は含有金属量。

\*2 年間生産量は鉱石生産量(含有金属量)、2012年予測値。

\*3 可採年数=埋蔵量/年間生産量

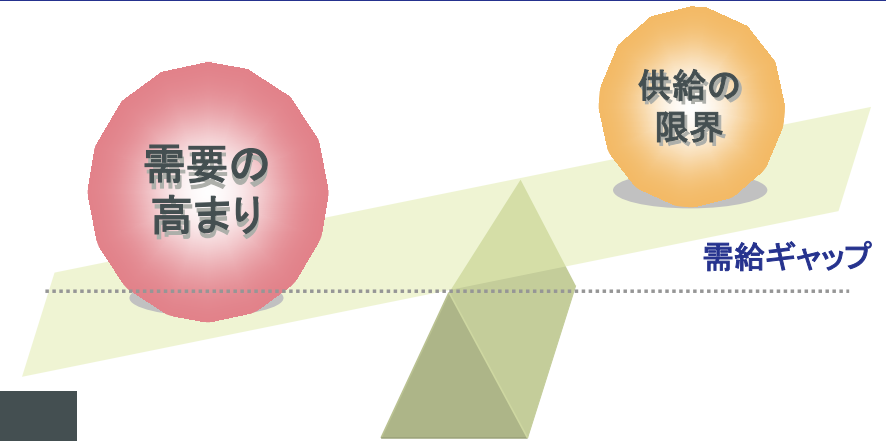
出所:USGS「Mineral Commodity Summaries 2013」をもとにブラックロック・ジャパン作成

※なお、上記の埋蔵量は現在、探査して確認できている量であり、今後も需給の逼迫が継続されれば、シベリアやジャングルの奥地、海底といった未開発な地域への探査も進む可能性も考えられます。よって、必ずしも上記の可採年数経過後に、各鉱物資源が枯渇するということではないと考えます。

## 拡大傾向にある需給ギャップのイメージ図

資源需給のミスマッチ

資源に対する需要が長期的に伸びることが予想される一方、資源の埋蔵量、供給量には限界があると考えられることから、長期的に資源供給の逼迫が予測されます。



需給ギャップの一例(原油)

前頁に掲載した要因等により、今後も需給ギャップが拡大する可能性があります。

出所: BP 世界エネルギー統計(2013年6月)をもとにブラックロック・ジャパン作成

(年)

※上記の予測は、当資料作成日時点のものであり、今後の市場環境等の変化に応じて変更される可能性があります。

※上図はファンドの特色を説明する目的で使用したイメージであり、将来の成果等を保証するものではありません。

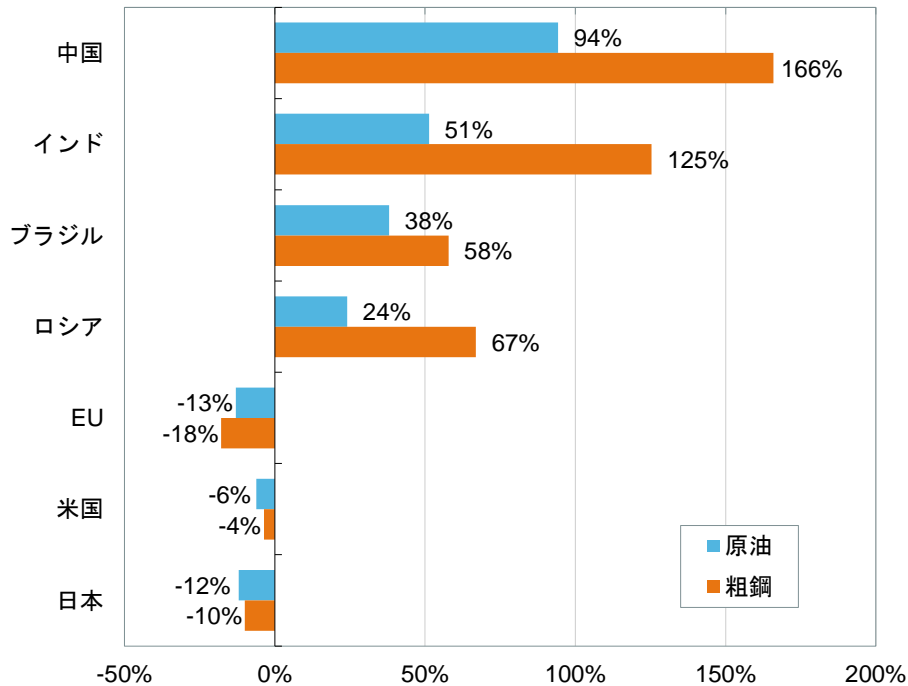
# 長期的に増大が見込まれる資源需要

資源需給のミスマッチ

資源の需要は、過去10年間で中国、インドなどの新興諸国の経済成長に伴って増大しました。BRICs等の新興国の世界のエネルギー需要に占めるシェアは今後、増える可能性が予測されております。

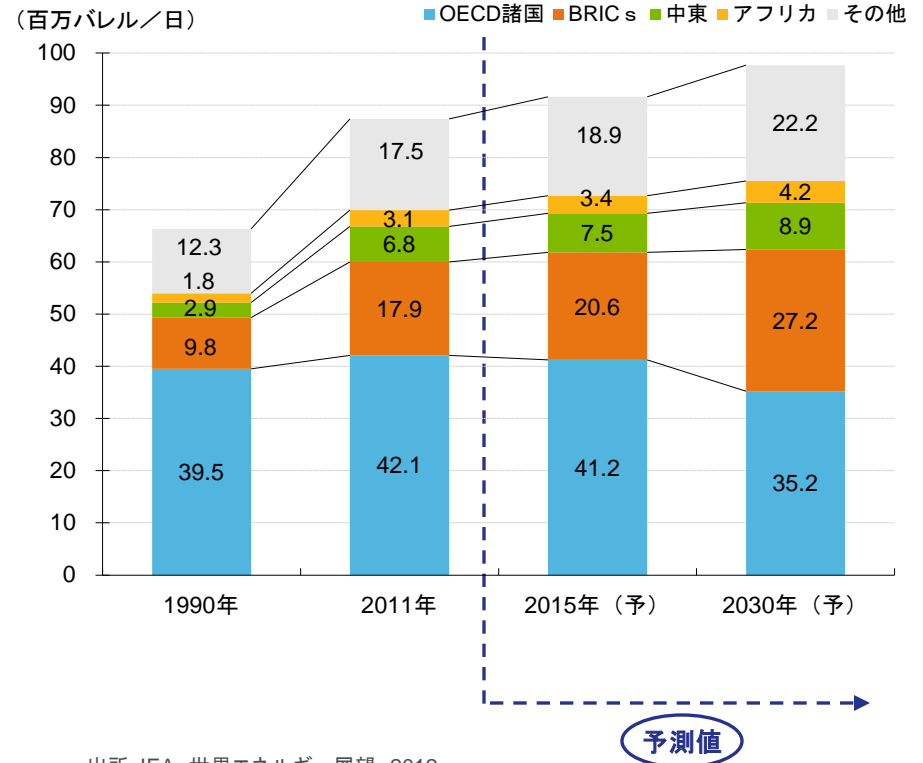
## 原油と粗鋼の消費量の過去の伸び率

※原油は2002年と2012年の比較、粗鋼は2003年と2012年の比較



出所: BP 世界エネルギー統計 (2013年6月)、世界鉄鋼協会 (2013年)

## 地域別エネルギー需要予測



出所: IEA 世界エネルギー展望 2012

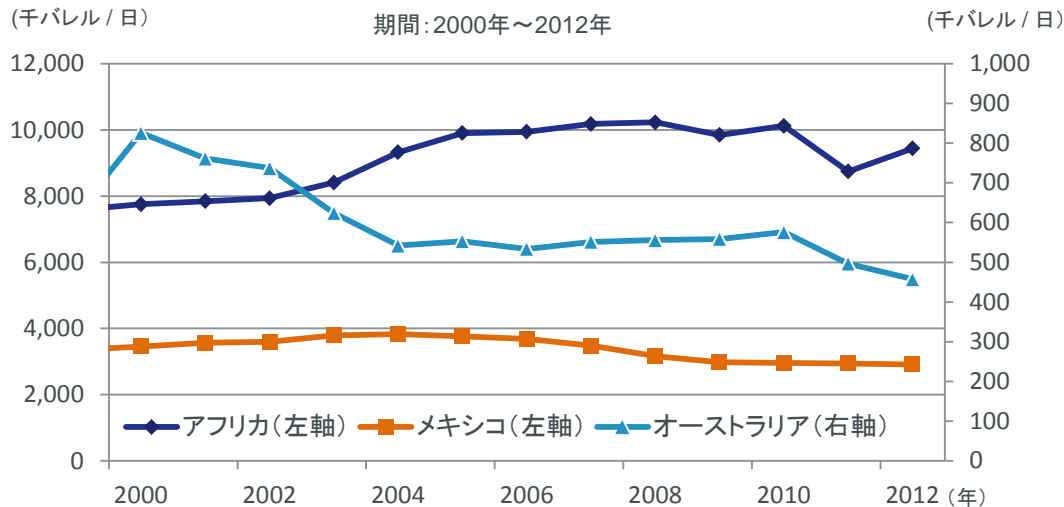
# 供給を大幅に増加させるには様々な制約があります

資源需給のミスマッチ

次のように供給を抑制する事例が見受けられます。

- 原油価格の上昇局面でも、設備の老朽化、ハリケーン等の影響で生産が伸び悩む。
- 異常気象の影響により鉱山会社の供給が抑制される場合もある。

## アフリカ大陸、メキシコ、オーストラリアの原油生産量



世界	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012
	74,955	74,948	80,968	82,482	82,932	83,272	86,152						

(単位:千バレル/日)

出所: BP 世界エネルギー統計(2013年6月)

## 過去に資源供給に影響を与えた事例

- 南アフリカの電力不足<sup>※</sup>
- オーストラリアの洪水 (2010年-2011年)



(写真: 豪州における炭鉱の洪水被害)

※ 鉱山会社が地中深くから鉱物を掘り出す際には、膨大な電力が必要とされており、経済成長等で電力不足になると鉱物の供給を抑制することになります。

ご参考: 一般的な資源開発の流れ(鉱物資源の例)



..... 事前調査から開発計画決定まで一般的に7年~8年以上の期間が必要 .....



## 当ファンドでは資源関連でも川上企業に注目

## 【イメージ図】

「BGFワールド・エネルギー・ファンド」の主な投資対象とする領域

石油 天然ガス 石炭

川上過程（エネルギー企業）



油脈・ガス田等の発見

油田・ガス等の試し掘り

原油・ガス等の抽出

「BGFワールド・マイニング・ファンド」、「BGFワールド・ゴールド・ファンド」の主な投資対象とする領域

銅 アルミニウム 鉄 金

川上過程（鉱山企業、金鉱企業）



鉱脈の発見

鉱石の掘り出し

鉱石の抽出

投資対象ファンドの主な投資対象には  
なっていない分野

川中／川下企業の場合、資源価格が上昇すると仕入れ原価が上昇しますが、製造する加工品や販売する最終消費財には仕入れ原価の上昇部分を価格転嫁できない場合があります。こうした事情から、川中／川下企業は、資源価格上昇による収益への寄与度が、川上企業と比べて低いと考えられます。

川中／川下過程  
（加工、小売）

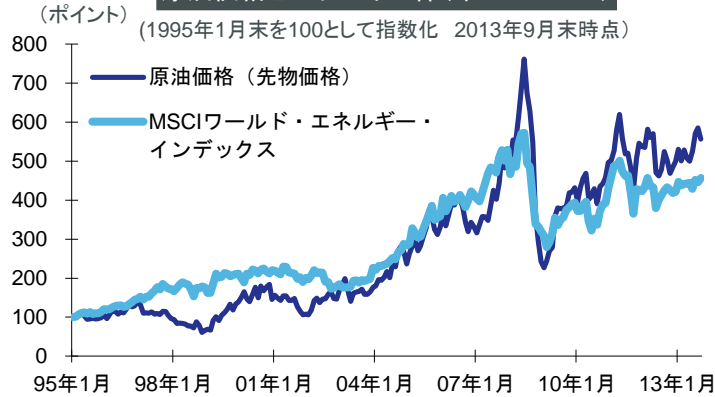
※投資対象になる石油メジャー企業等は、川下の業務も実施している場合があります。

川中／川下過程  
（金属加工、中間材製造、販売）

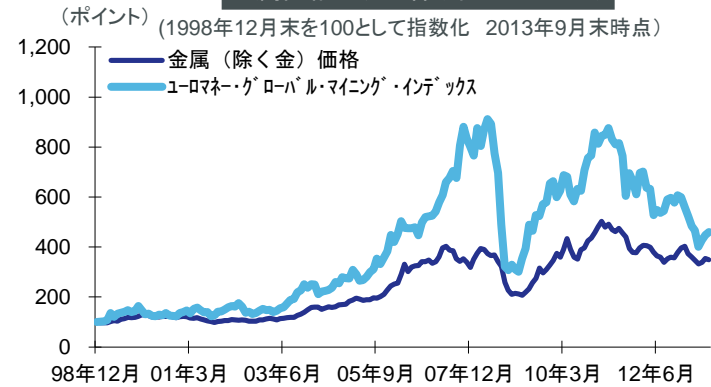
# 資源価格と資源株の価格とバリュエーション

エネルギー、鉱山株式ともに、値動きの方向性において資源の現物価格との一定の相関性が見られます。

原油価格とエネルギー株(米ドルベース)

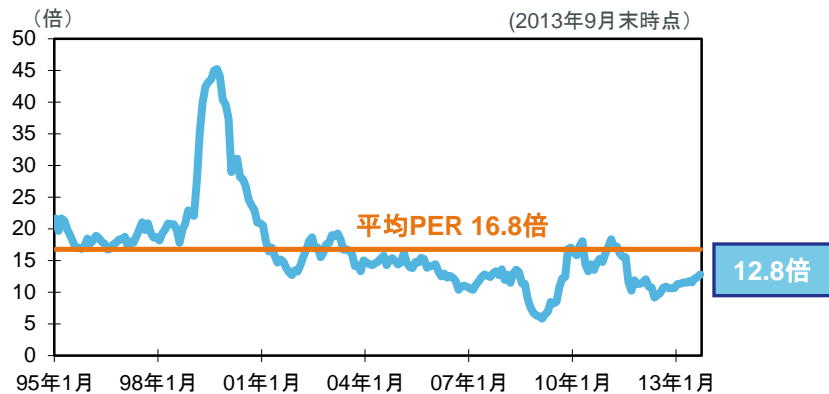


金属価格と鉱山株(米ドルベース)

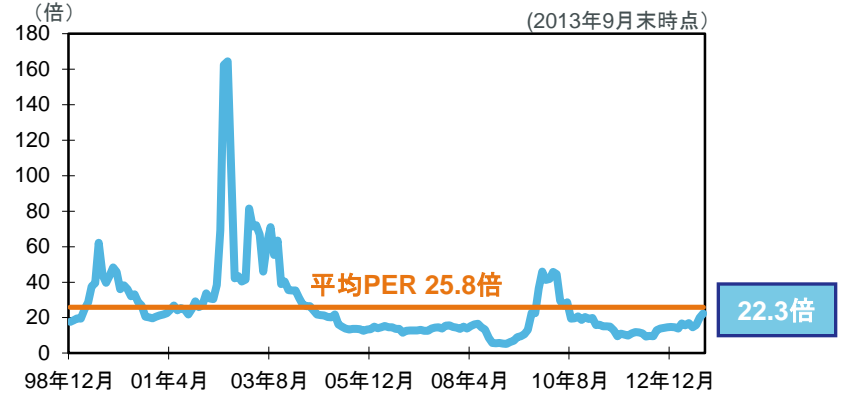


エネルギー、鉱物関連セクターともに、過去のバリュエーションの比較で直近の水準は割安と考えられます。

エネルギーセクターのPER(株価収益率)の推移(米ドルベース)



鉱物関連セクターのPER(株価収益率)の推移(米ドルベース)

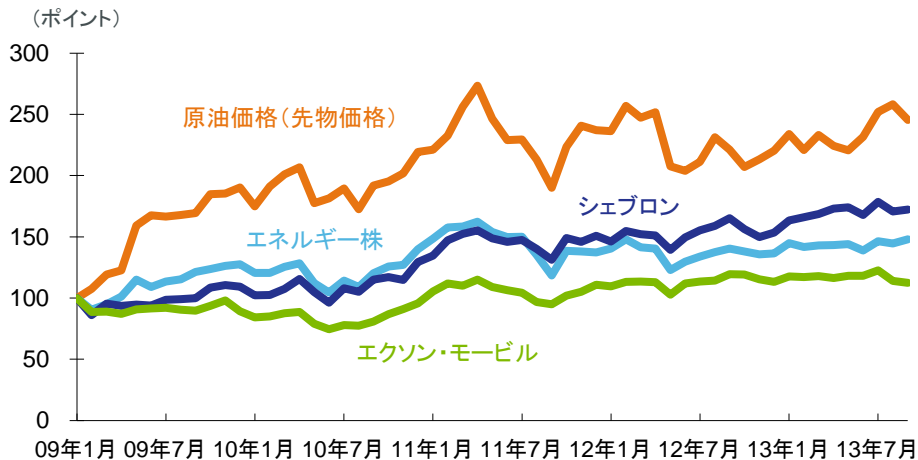


※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

# エネルギー株式： 現物価格との比較で出遅れ感が見られる

金融危機後の回復において、原油価格の値動きに比べて、エネルギー株については景気の先行きへの懸念等から株式に対して、投資家が慎重な姿勢をとったことなどを背景に相対的に出遅れ感がみられます。

## 金融危機後の原油価格と資源株の推移(米ドルベース)



## 金融危機以降の各種騰落率

騰落率	原油価格(先物価格)	エネルギー株	シェブロン	エクソン・モービル
	146%	48%	72%	13%

出所: Bloomberg

原油価格はNYMEXの軽質スイート原油先物価格

エネルギー株はMSCIワールド・エネルギー・インデックス

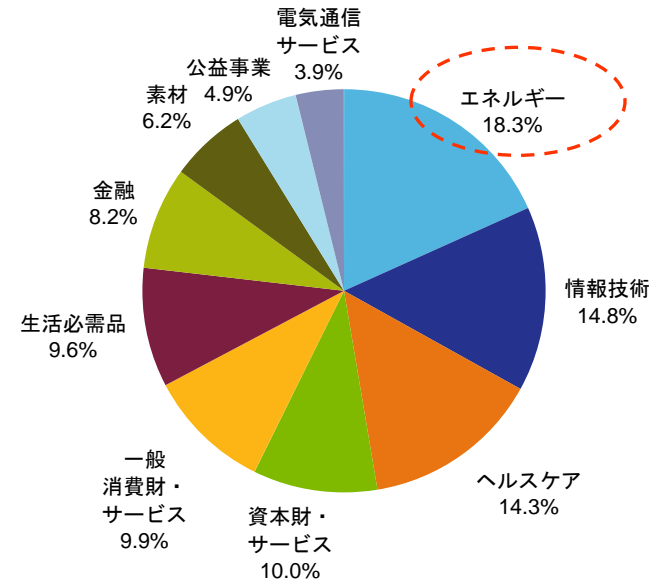
(2013年9月末時点)(2009年1月末を100として指数化 騰落率は2009年1月末との比較)

※上記は代表的な資源株の一例を示すためのものであり、個別銘柄を推奨するものではありません。また、将来の組入を示唆するものではありません。

※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

米国株式市場において、業種毎に向こう12ヶ月の予想EPS\*(一株当たりの企業予想収益)を分析するとエネルギーセクターの割合が高く、このセクターへの収益見通しが相対的に強気であると考えられます。

## S&P 業種別 向こう12ヶ月の予想EPSの内訳



\*S&P500種指数のサブセクターごとに、2013年9月末時点より向こう12ヶ月の予想EPS値を集計して比率として算出したものです。

出所: Bloombergのデータをもとにブラックロックで作成

※上記は作成日現在の弊社の市況見通しであり、将来の運用成果等を保証するものではなく、今後の環境の変化等により予告なく変更される可能性があります。

# 鉱山株式・金鉱株式：資源価格が上昇する場合、収益期待が高まる

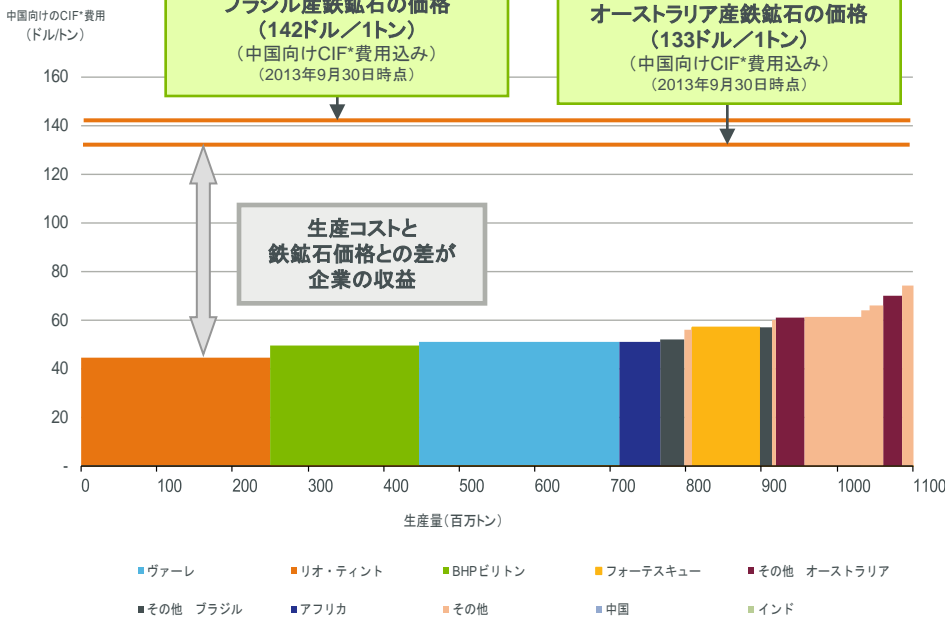
資源株の投資魅力

足下では、生産コストと売上価格には一定の乖離が見られます。仮に資源価格が横ばいでも、企業努力等により株式価値が向上する可能性があります。  
(ここでは株式の銘柄選択が重要なポイント)

金鉱企業の収益構造を示す下記モデル図の通り、産金コストを一定とした場合、金価格の変動率はそのまま金鉱企業の利益となる傾向があります。これをギアリング効果と呼びます。

## 中国市場向けの鉄鉱石輸出コストと市場価格の関係

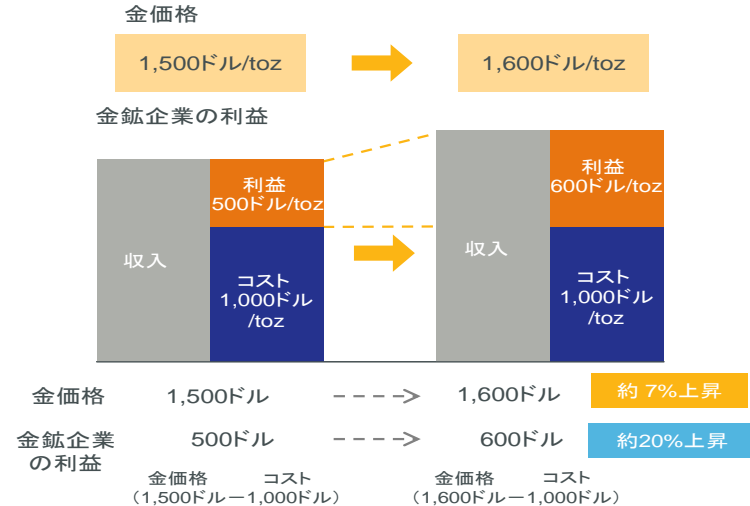
横軸は鉄鉱石の主要企業の生産量と縦軸は各企業が生産するのにかかるコストを表しています。



## 金鉱企業の金価格上昇時の収益に与える影響

金価格の変動は、金鉱企業の業績に直結するため、結果として金鉱株は金価格よりもダイナミックな値動きをする傾向があります。

### 【イメージ図】 金価格上昇時



逆に金価格が下落する際には、金鉱企業の収益はより大きな下落の影響を受ける可能性があります。

※上記は代表的な資源株の一例を示すためのものであり、個別銘柄を推奨するものではありません。  
また、将来の組入を示唆するものではありません。  
※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

\*CIFとは輸出地から輸入地までの運賃・保険・各種手続き、作業料を加算したものを契約価格とした契約

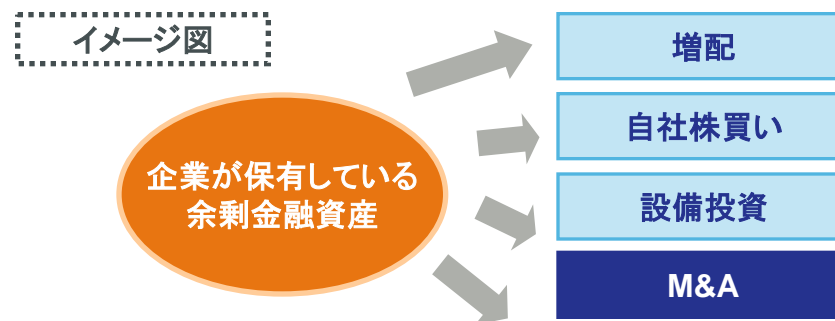
出所：生産コストの数値はマッコリー/スチールインデックス 2013年8月

- ※ ギアリング効果とはギア(歯車)の歯数比から転じて、ギアの比率によって得るリターンが大きさが変化する倍数効果のこと。 ※ 図は金1トロイオンス(=約31.1g)当たりのモデル図です。
- ※ 図は金価格と産金コスト(費用)の関係をご理解いただくために、一例としてお示しするイメージ図です。
- ※ 金鉱企業が金価格の変動を見込んで先物売りにより収益のプレを抑制するなどした場合には、金価格の変動が金鉱株の値動きに影響を及ぼさないこともあり、かならずしも金価格と金鉱株の間のギアリング効果が得られる保証はありません。

## 資源関連企業のM&amp;A(合併・買収)

資源株の投資魅力

資源企業の中には埋蔵量確保やビジネスの多角化に向け、手元資金をM&Aなど積極的な経営へ使う事例が見受けられます。



## 2013年上半期の主な資源関連企業M&amp;A事例

発表日	被買収側	買収側	被買収側業種
01/22/2013	KNOC-Vogo Eagle Ford LLC	Vogo Investment Group Co Ltd	エネルギー
01/29/2013	コパノ・エナジー	Kinder Morgan Energy Partners LP	エネルギー
02/25/2013	Chesapeake's net oil and natural gas leasehold acr	中国石油化工 [シハ° ック]	エネルギー
02/27/2013	Eagle Ford Shale Oil and Gas Project	DCP Midstream Partners LP	エネルギー
03/01/2013	El Paso Natural Gas Co LLC, El Paso Midstream assets/Utah & South Texas	Kinder Morgan Energy Partners LP	エネルギー
03/14/2013	エニ・イースト・アフリカ	China National Petroleum Corp	資源会社
04/04/2013	Producing properties and acreage/Texas and Oklahom	ミッドステーツ・ヘ° トロリアム	エネルギー
04/05/2013	Transport et Infrastructures Gaz France SA	複数買収者	エネルギー
04/08/2013	ラフキン・インダ° ストリス°	ゼネラル・エレクトリック	油田機器メーカー
05/15/2013	Gas Transmission Northwest LLC, Bison Pipeline LLC	TCパ° イ° ラインズ°	エネルギー
06/10/2013	Natural Gas Assets in New Mexico and Alabama	Atlas Resource Partners LP	エネルギー

出所: Bloombergのデータをもとにブラックロック・ジャパン作成

期間: 2013年1月~6月

※上記企業は一例を示すためのものであり、個別銘柄を推奨するものではありません。

また、上記は過去の実績であり、将来の投資成果等を保証するものではありません。

## 当ファンドが着目する投資セクターの例

当ファンドが着目する投資セクター

## 石油

主要な資源であり、原油を精製してガソリン、灯油、軽油や各種石油製品が生産される。

身近で使用されている例

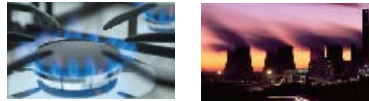


ガソリン 石油化学製品

## 天然ガス

メタンを主成分とする無色透明の可燃性ガス。燃焼時の二酸化炭素の排出量が少ない。

身近で使用されている例

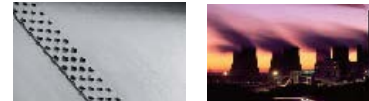


都市ガスの原料 火力発電の燃料

## 石炭

発電の燃料や熱源、動力源として利用されるほか、鉄鋼生産の原料としても用いられる。

身近で使用されている例



鉄鋼の原料 火力発電の燃料

## 世界のエネルギー関連株

## 鉄鉱石

鉄分を多く含む岩石のことで、製鉄原料となる鉱石。

身近で使用されている例



ビル 自動車

## 世界の鉱山株

## 銅

電気伝導性、熱伝導性に優れ、電線や家電製品・電気自動車の部品に使用されている。

身近で使用されている例



電気自動車 電線

## レアメタル

埋蔵量が少ない、もしくは埋蔵量が多くても産出が難しい金属の総称。ニッケル、リチウムなど、約30種類が存在。

身近で使用されている例



液晶ディスプレイ (インジウム) リチウムイオン電池 (リチウム)

## 金(含むプラチナ)

古くから通貨として用いられるとともに、エレクトロニクス産業などの分野で利用されている。

身近で使用されている例



排気ガス浄化触媒 (プラチナ) 携帯電話

## 世界の金鉱株

※ 鉱山企業の一部には金の採掘を行なう企業も含まれています。

【ご参考】

代表的な資源株のご紹介① —エネルギー—関連株—

当ファンドが着目する投資セクター

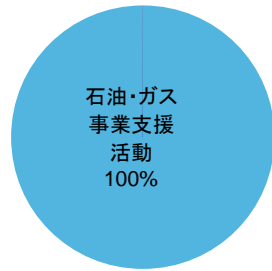
シュルンベルジェ(米国)



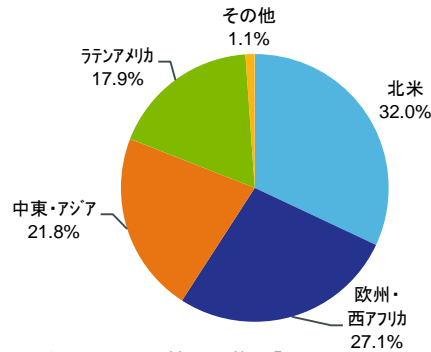
株式時価総額: 1,169億ドル  
(約11.4兆円)

石油サービス会社。子会社を通して広範囲なサービスを提供する。テクノロジー、プロジェクト管理、情報ソリューションなどのサービスを世界の石油産業へ提供するほか、高度な探査および調査のデータ処理も手掛ける。

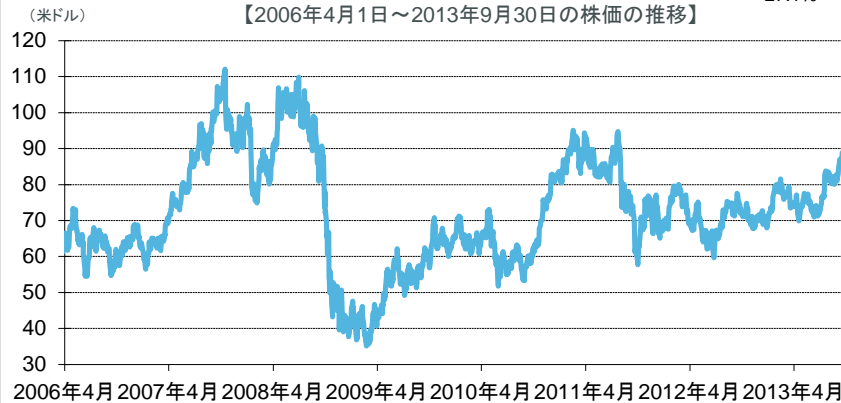
事業別売上比率 2012年



地域別売上比率 2012年



【2006年4月1日～2013年9月30日の株価の推移】



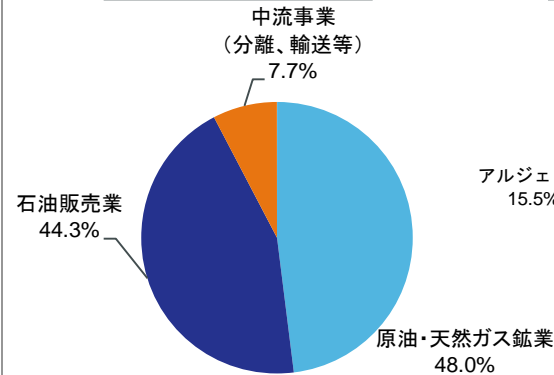
アナダルコ・ペトロリアム(米国)



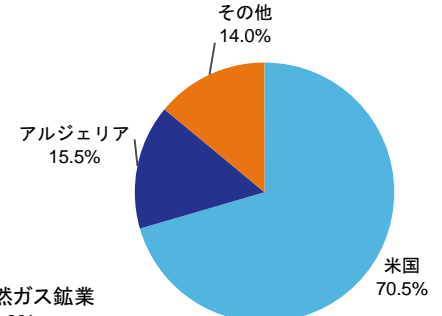
株式時価総額: 467億ドル  
(約4.5兆円)

独立系石油・ガス会社。石油、ガスの探査および生産を世界で手掛ける。米国では、テキサスを中心に周辺の州、ロッキー山脈、アラスカ、メキシコ湾で、国際的には、アフリカ、アジア、南米、カリブ海地域で探査・生産事業を展開する。

事業別売上比率 2012年



地域別売上比率 2012年



【2006年4月1日～2013年9月30日の株価の推移】



出所: Bloombergをもとにブラックロック・ジャパンが作成。(2013年9月30日時点) 株式時価総額、為替レートは2013年9月30日現在のTTMを使用。  
 ※上記は代表的な資源株の一例を示すためのものであり、個別銘柄を推奨するものではありません。また、将来の組入を示唆するものではありません。  
 ※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

# 代表的な資源株のご紹介② — 鉱山株 —

当ファンドが着目する投資セクター

インパラ・プラチナム・ホールディング(南アフリカ)



株式時価総額: 783億ランド  
(約7,549億円)

鉱業持株会社。プラチナ鉱山を経営するほか、パラジウム、ロジウム、ニッケルなどのプラチナ属の金属を採鉱、生産、販売する。卑金属・貴金属の生産者向けに精製サービスも提供。

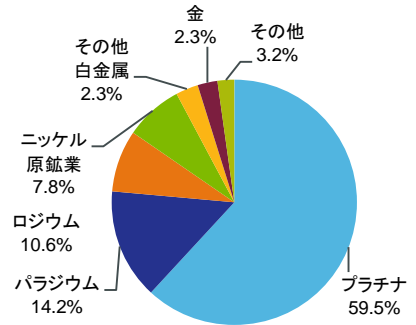


※図中の色付けされている地域は、同社が操業する鉱山の地域を示しています。

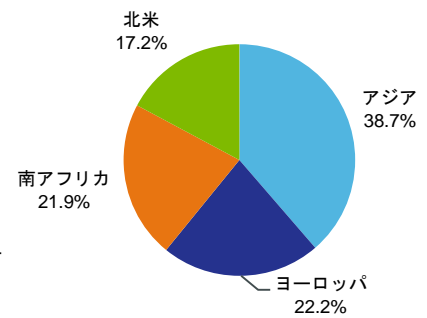
操業地域

- 南アフリカ
- ジンバブエ

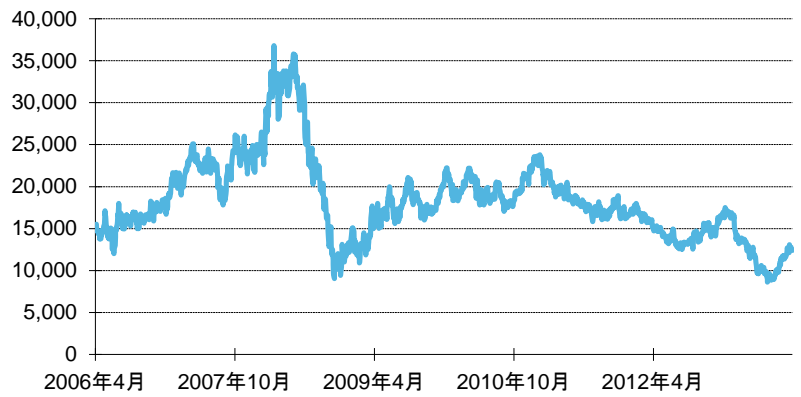
事業別売上比率 2012年



地域別売上比率 2012年



【2006年4月3日～2012年9月30日の株価の推移】



出所: Bloombergをもとにブラックロック・ジャパンが作成。(2013年9月30日時点) 株式時価総額、為替レートは2013年9月30日現在のTTMを使用。  
 ※上記は代表的な資源株の一例を示すためのものであり、個別銘柄を推奨するものではありません。また、将来の組入を示唆するものではありません。  
 ※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。



# 代表的な資源株のご紹介③ ー金鉱株ー

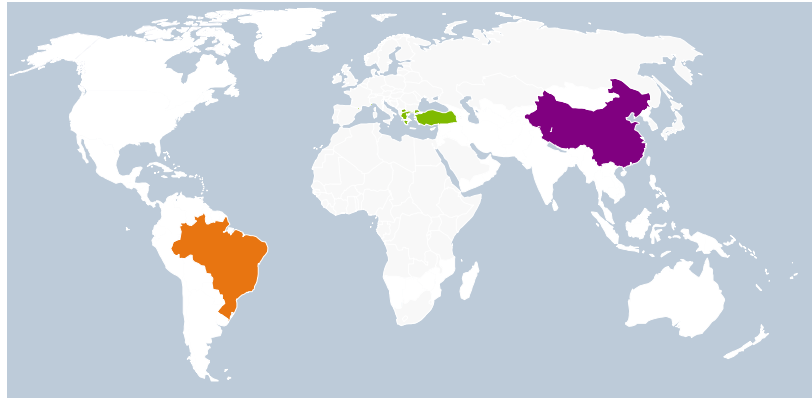
当ファンドが着目する投資セクター

## エルドラド・ゴールド(カナダ)



株式時価総額: 50億カナダドル  
(約4,713億円)

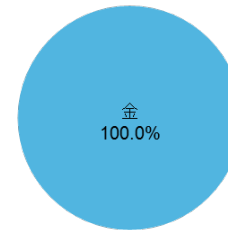
鉱山会社。鉱山の買収、探査、開発に従事。現在、ブラジル、中国、トルコ、ギリシャおよびその近隣で金鉱の運営を手掛ける。



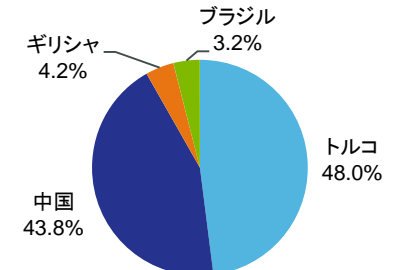
※図中の色付けされている地域は、同社が所有する金鉱山、鉄鉱石鉱山が存在する地域を示しています。



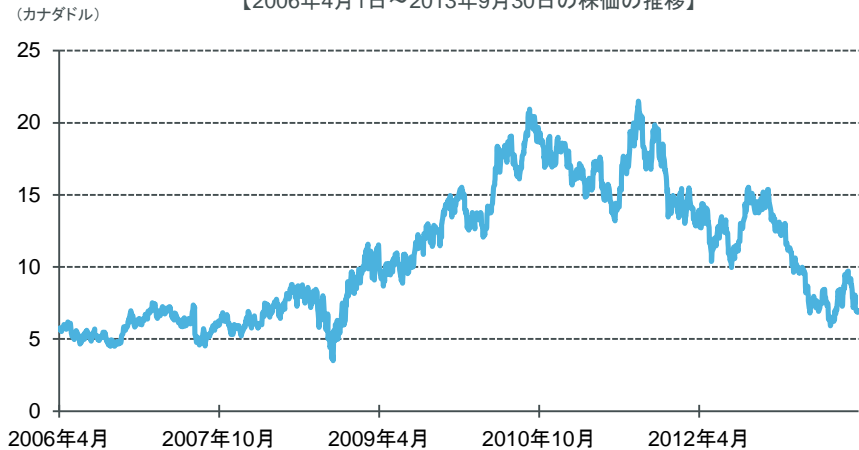
事業別売上比率 2012年



地域別売上比率 2012年



【2006年4月1日～2013年9月30日の株価の推移】



出所: Bloombergをもとにブラックロック・ジャパンが作成。(2013年9月30日時点)株式時価総額、為替レートは2013年9月30日現在のTTMを使用。  
 ※上記は代表的な資源株の一例を示すためのものであり、個別銘柄を推奨するものではありません。また、将来の組入を示唆するものではありません。  
 ※上記は過去の実績であり、将来の投資成果等を保証するものではありません。

【ご参考】

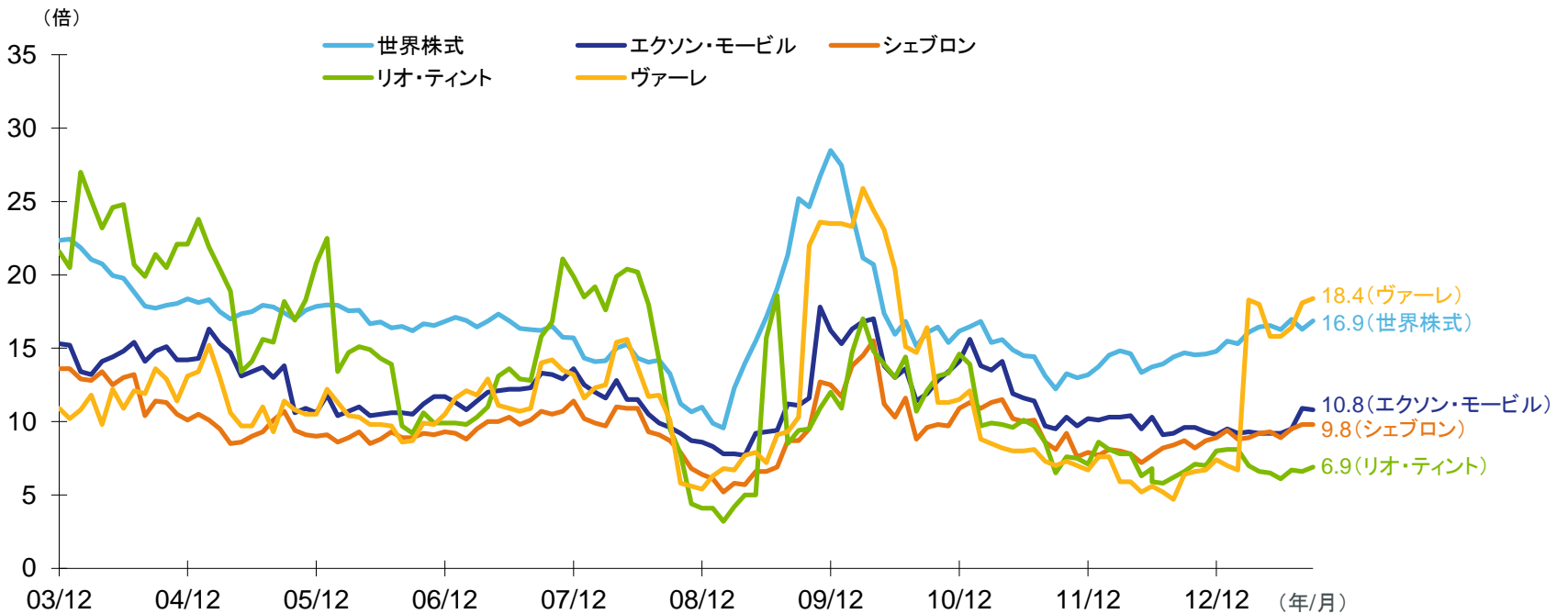
## 資源株のPERの推移

当ファンドが着目する投資セクター

資源株のPER(株価収益率)は、一部を除いて世界株式を相対的に下回る水準で推移しています。例えばエクソン・モービル、シェブロンなどのエネルギー株は、足下では世界株式よりも割安な水準と考えられます。

## PER(株価収益率)の推移

期間:2003年12月~2013年9月(月次)



出所:データストリーム 世界株式はMSCIワールド・インデックスを使用。

※上記は代表的な資源株の一例を示すためのものであり、個別銘柄を推奨するものではありません。また、将来の組入を示唆するものではありません。

※上記は過去の実績であり将来の投資成果を保証するものではありません。

# ブラックロックについて

ブラックロック・グループは、2013年9月30日現在、運用資産残高約4.10兆ドル(約402兆円)\*を持つ世界最大級の独立系資産運用グループであり、ブラックロック・ジャパンは当グループの日本法人です。  
 ニューヨークにグループ本社を置き、世界に各資産クラスの運用チームを配しています。  
 30ヶ国68の都市に拠点を擁し、世界各地で様々なファンドを登録、ご提供しています。

\*適用レート: WMロイター1ドル=98.125円(2013年9月30日現在)



\*ブラックロックの主要運用拠点

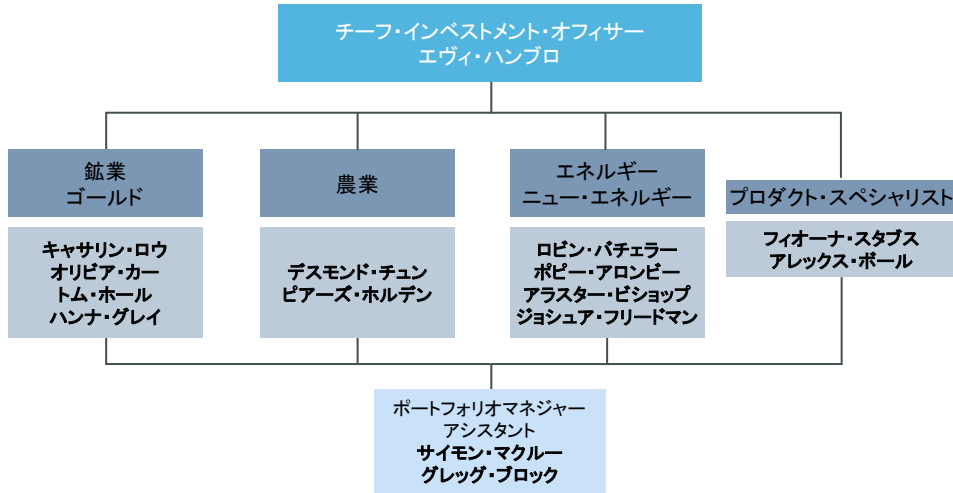
†合弁会社

上記に加え、北米大陸に小規模の地方拠点を有します

## 【ご参考】

## 投資対象ファンドの運用体制

## ブラックロック・インベストメント・マネジメント(UK)リミテッド(ロンドン)



2014年1月現在

## エヴィ・ハンブロ EVY HAMBRO

## 職歴

1994年にメリルリンチ・インベストメント・マネジャーズ(現ブラックロック)に入社し、天然資源チームに所属。その後オーストラリアとカナダで2年間働き、ロンドンに戻る。1997年より天然資源株ファンドを運用。現在、このほか、BGF World Mining FundとBGF World Gold Fundを担当。また、BlackRock Natural Resources Hedge Fundを共同運用。

## 学歴

ニューキャッスル大学 マーケティング学専攻



## 運用チームの特徴

- ロンドンの資源株専門チームが運用
  - 専門的な知識や経験を持つ地質学・鉱物探査学等のスペシャリストによって構成
  - チームの運用総額は239億ドル(約2.33兆円)\*
- \*2013年9月末現在(円換算レート 1米ドル= 97.75円を使用)

## 投資対象ファンドのレーティング(2013年)

## BGF World Gold Fund

- Platinum - S&P Capital IQ Rating
- Gold - Morningstar

## BGF World Mining Fund

- Gold - S&P Capital IQ Rating
- Gold - Morningstar

※当該評価は過去一定期間の実績を分析したものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

当ファンドについて、委託会社の依頼により、信用格付業者から提供され、もしくは閲覧に供された信用格付または信用格付業者から提供され、もしくは閲覧に供される予定の信用格付はありません。

\* スタンダード&プアーズのキャピタルIQファンド・リサーチにおけるレーティングは最低でも過去2年の運用実績を持つファンドを分析対象としています。また、分析の際には、同種の運用戦略をもつファンド群における相対評価を総合的に加味し、Platinum、Gold、Silver、Bronze、Grading on hold、Grading Removed等のレーティングを与えます。最も高い評価はPlatinumです。  
\* モーニングスター・アナリスト・レーティングは、モーニングスターが定めるユニバースの中で、相対的な観点からGold、Silver、Bronze等の5段階にレーティングしたものです。最も高い評価はGoldです。

## ロビン・パチェラー ROBIN BATCHELOR

## 職歴

1996年にメリルリンチ・インベストメント・マネジャーズ(現ブラックロック)に入社し、天然資源チームに配属。1998年までにエネルギー株運用のノウハウを習得し、1999年1月よりグローバル・エネルギー株ファンドを担当。

## 学歴

グラスゴー大学 応用地質学専攻、スティアリング大学 運用分析学修士



※上記の運用体制等は変更になる場合もあります。

## 運用チームの実地調査

運用チーム体制

エネルギー株ファンド、鉱山株ファンドの銘柄選択では、通常の株式としての分析（収益性、経営者の質、バリュエーション等）に加え、実地調査に基づく技術的視点（保有資産の分析等）からの調査を重視します。

北海油田



ウズベキスタン (Amantaytau 金鉱山)



キルギス (Kumtor 金鉱山)



アルバ製油所



アルバは、西インド諸島の南端部、南米ベネズエラの北西沖に浮かぶオランダ領の島

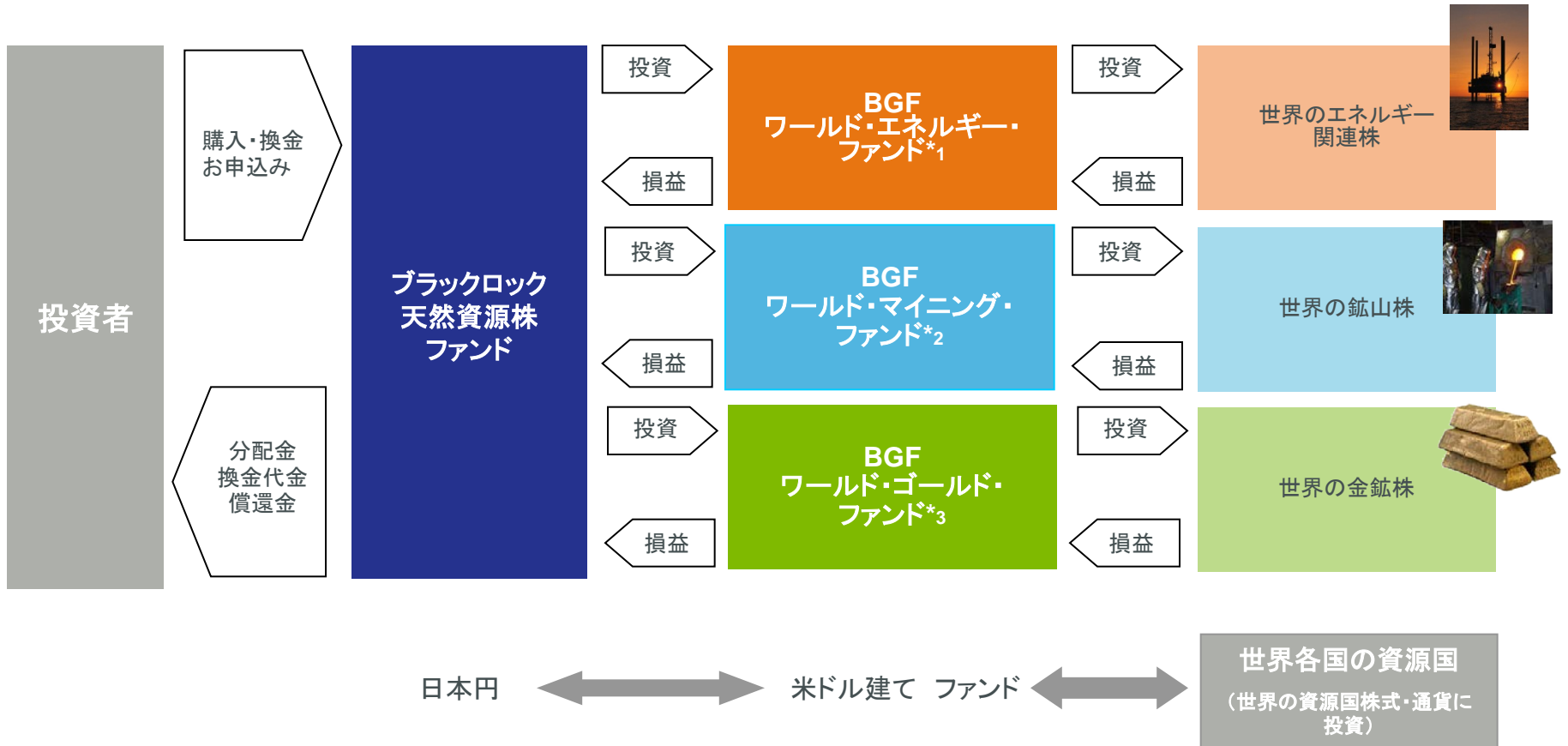
南アフリカの金鉱山



オーストラリア (West Angelas 鉄鉱山)

※世界地図の中の足跡は、ロンドンの天然資源チームが実地調査に赴いた先の例を示しています。これらの写真は運用担当者が現地調査の際に撮影したものです。

# ファンドの仕組み: ファンド・オブ・ファンズ



\*1 正式名称は、「ブラックロック・グローバル・ファンズ ワールド・エネルギー・ファンド クラスX投資証券」です。

\*2 正式名称は、「ブラックロック・グローバル・ファンズ ワールド・マイニング・ファンド クラスX投資証券」です。

\*3 正式名称は、「ブラックロック・グローバル・ファンズ ワールド・ゴールド・ファンド クラスX投資証券」です。

※投資対象ファンドは、委託会社の判断により、適宜見直しを行うことがあります。

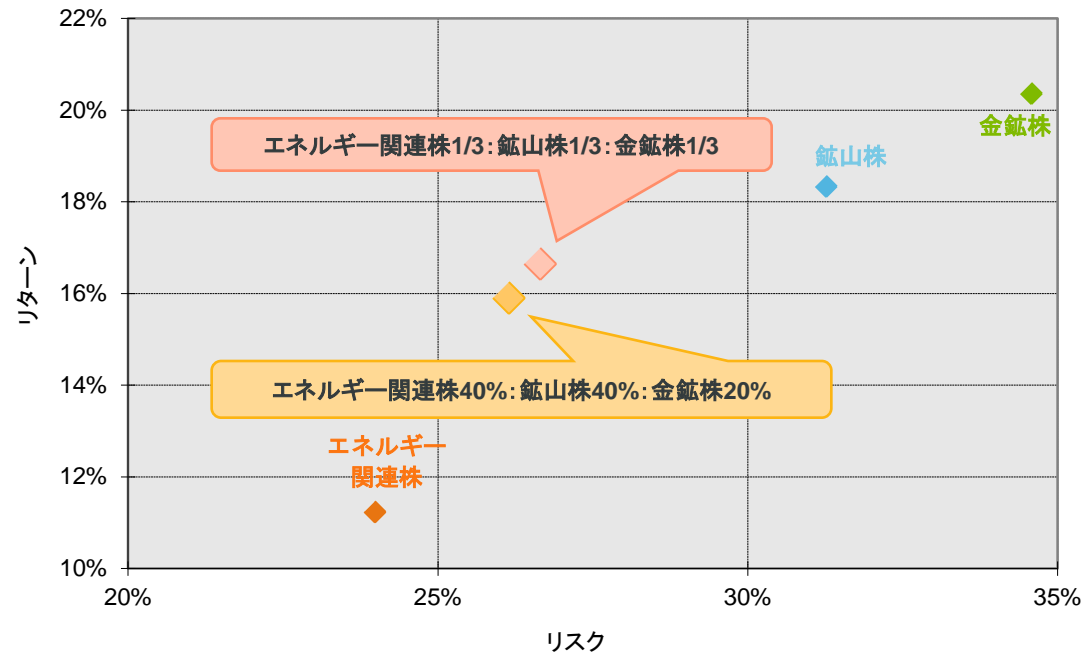
## 【ご参考】

## 3つの投資先ファンドに分散投資

3つの投資対象ファンドに投資することにより、資源株全般に投資頂くことが可能となります。新興国の経済発展等、世界の資源市場の動向を意識し、エネルギー関連株・鉱山株・金鉱株の3つに分散させます。

エネルギー関連株ファンド、鉱山株ファンド、金鉱株ファンドでは、下図のようにリスク・リターンが異なります。そこで、3つのファンドに、それぞれ40%-40%-20%で分散投資することで、ポートフォリオ全体のリスク・リターン効果を改善することが期待されます。

## 各ファンドと合成のリスクとリターン(2001年4月から2013年9月)



金融商品におけるリスクとは、リターン(収益)がプラスになるのかマイナスになるのか分からないという「不確実性」を表すものです(標準偏差)。一般的には、複数の資産に分散投資することにより、リスクを軽減することが期待されます。

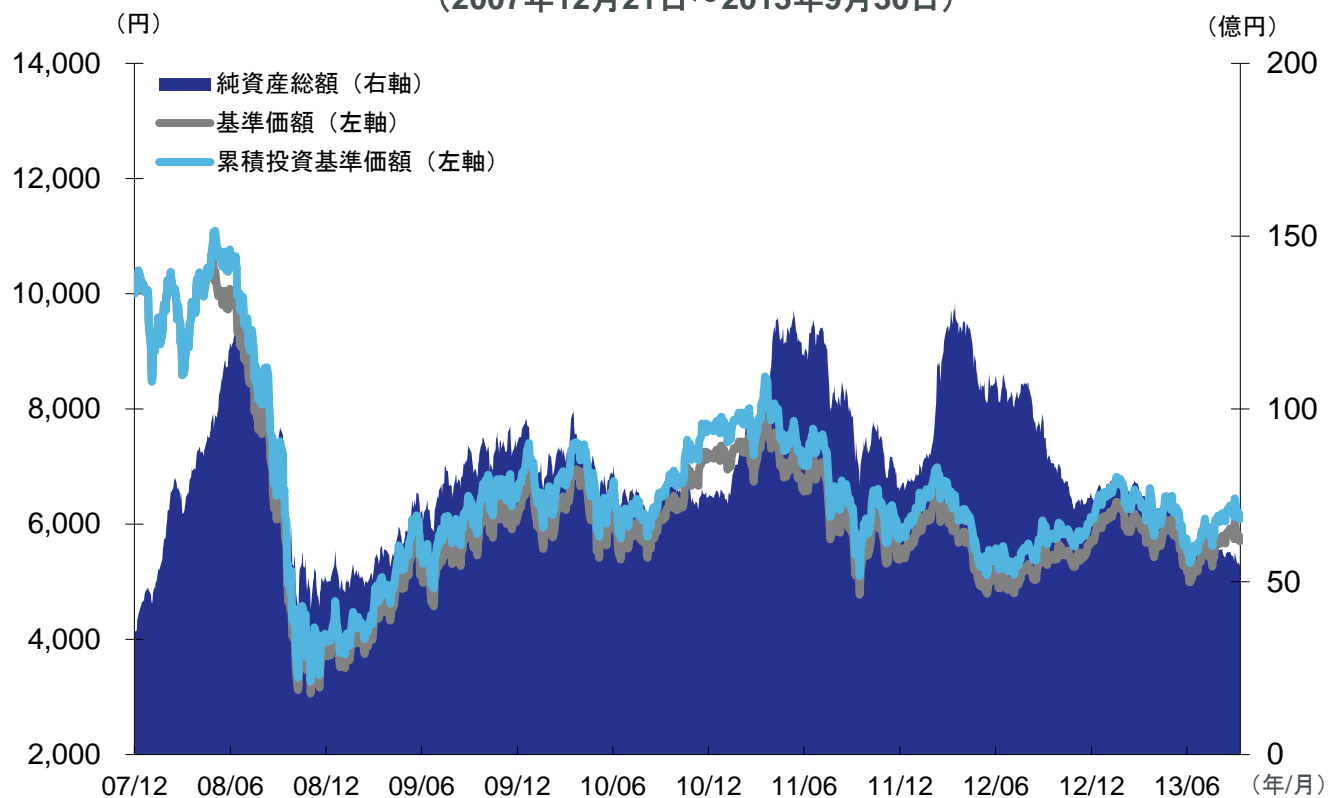
※「エネルギー関連株」は、BGFワールド・エネルギー・ファンド、「鉱山株」はBGFワールド・マイニング・ファンド、「金鉱株」はBGFワールド・ゴールド・ファンド。「エネルギー関連株40%: 鉱山株40%: 金鉱株20%」および「エネルギー関連株1/3: 鉱山株1/3: 金鉱株1/3」については、2001年4月から2013年9月までの月次データを用い、それぞれの配分比率に応じて月次リバランスを行ったものとしてブラックロックにて算出(米ドルベース)。

※上図リターンは、月次リターンの平均値です。

※上図はシミュレーション結果であり将来の投資成果を保証・約束するものではありません。

## 運用実績（2013年9月30日現在）

ファンドについて

設定来の基準価額と純資産総額の推移  
(2007年12月21日～2013年9月30日)

※上記グラフの累積投資基準価額は税引前分配金を再投資したものとして算出しています。  
 ※右下図の期間別騰落率は、税引前分配金を再投資したものとして算出した累積投資基準価額により計算しています。  
 ※また、分配金額は過去のものであり、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。運用状況によっては、分配を行わない場合があります。  
 ※上記の運用実績は過去のものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。

## ファンドデータ

基準価額	5,700円
累積投資基準価額	6,085円
純資産総額	54.57億円

## 分配実績(1万口あたり、課税前)

第1期(08/2/20)	0円
第2期(08/5/20)	700円
第3期～第22期	0円
第23期(13/8/20)	0円
分配金累計額	700円

## 期間別騰落率

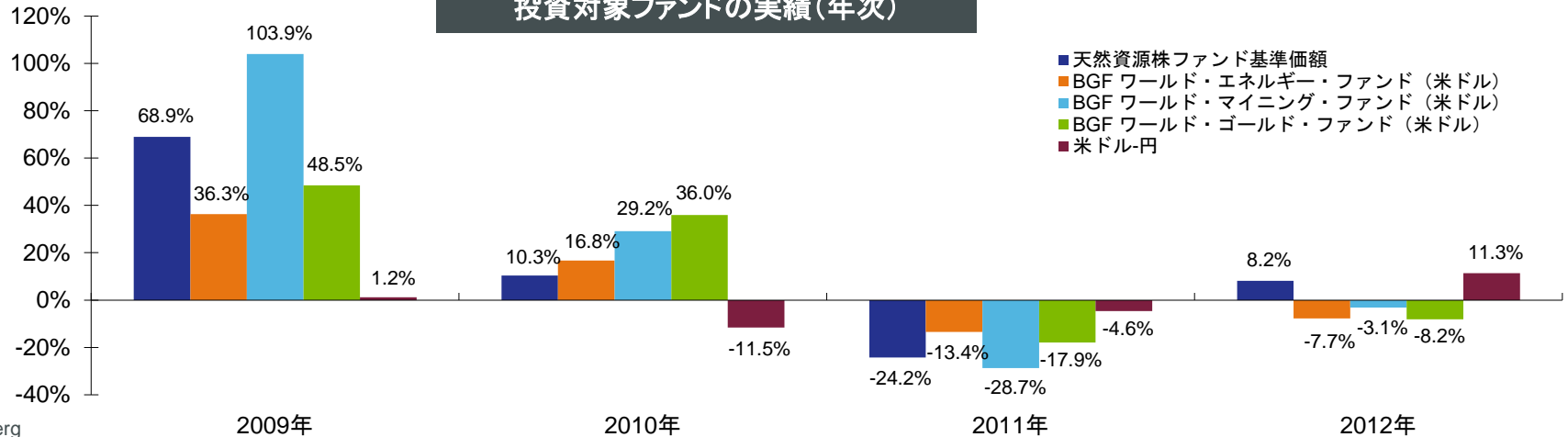
1ヶ月	0.41%
3ヶ月	12.07%
6ヶ月	-3.42%
1年	6.56%
3年	-8.14%
5年	-6.10%
設定来	-39.15%



# 投資対象ファンドの運用実績

ファンドについて

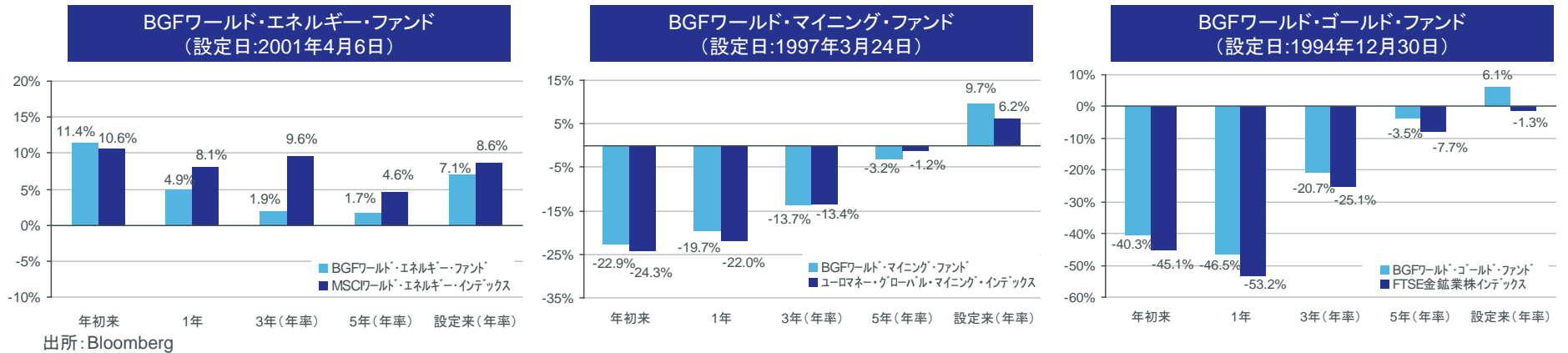
## 投資対象ファンドの実績(年次)



出所: Bloomberg  
※前年度の年末との騰落率。

## 投資対象ファンドの参考指数との運用実績の比較(米ドルベース)

(2013年9月末基準)



※上記のグラフは、投資対象ファンドの過去の運用状況であり、当ファンドの値動きや投資状況を示すものではありません。また、将来の結果をお約束するものではありません。  
 ※当ファンドの投資対象はクラスX投資証券です。上記グラフで使用したクラスA投資証券とポートフォリオは同一ですが、管理報酬がかからない点などが異なります。  
 ※投資対象ファンドは、委託会社の判断により、適宜見直しを行うことがあります。

## 投資対象ファンドの組入状況（2013年9月30日現在）

ファンドについて

## エネルギー株ファンド

-BGFワールド・エネルギー・ファンド-



## 組入上位10銘柄

順位	銘柄名	組入比率 (%)
1	シェブロン	9.9
2	エクソンモービル	7.6
3	シュルンベルジェ	6.9
4	BGグループ	5.5
5	コノコフィリップス	5.1
6	アナダルコ・ペトロリアム	5.0
7	ハリバートン	4.6
8	ノーブル・エナジー	4.4
9	ヘス	4.1
10	BP	4.0

## 鉱山株ファンド

-BGFワールド・マイニング・ファンド-



## 組入上位10銘柄

順位	銘柄名	組入比率 (%)
1	リオ・ティント	10.1
2	BHPビリトン	9.7
3	グレンコア・エクストラータ	8.1
4	フリーポート・マクモラン・コッパー・アンド・ゴールド	7.8
5	ファースト・クワンタム・ミネラルズ	7.3
6	グレンコア（転換社債）	4.1
7	テック・リソーシズ	3.7
8	ヴァーレ	3.3
9	フォーテスキュー・メタルズ・グループ	3.1
10	アントファガスタ	2.5

## 金鉱株ファンド

-BGFワールド・ゴールド・ファンド-



## 組入上位10銘柄

順位	銘柄名	組入比率 (%)
1	フランコーネバダ	8.5
2	ランドゴールド・リソーシズ	7.9
3	ゴールドコープ	7.6
4	フレスニーヨ	6.8
5	エルドラド・ゴールド	6.0
6	ヤマナ・ゴールド	4.9
7	ニュークレスト・マイニング	4.8
8	ポリュス・ゴールド・インターナショナル	3.2
9	ニュー・ゴールド	3.1
10	インドウストリアス・ペルレス	3.0

※組入比率は各投資対象ファンドの純資産総額に対する割合です。

※上記は、投資対象ファンドの過去の組入比率であり、将来の組入比率等を示唆するものではありません。また、将来の運用成果をお約束するものではありません。

※上記は、投資対象ファンドの組入銘柄を示すためのものであり、個別銘柄を推奨するものではありません。

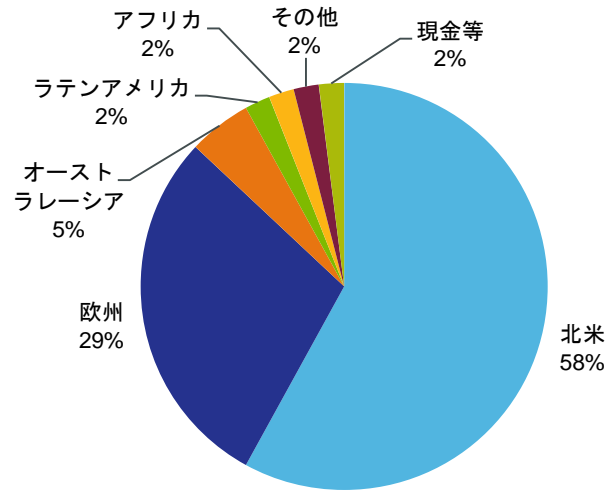
※投資対象ファンドは、委託会社の判断により、適宜見直しを行うことがあります。

【ご参考】

## 投資対象ファンドの地域別・通貨別構成比（2013年9月30日現在）

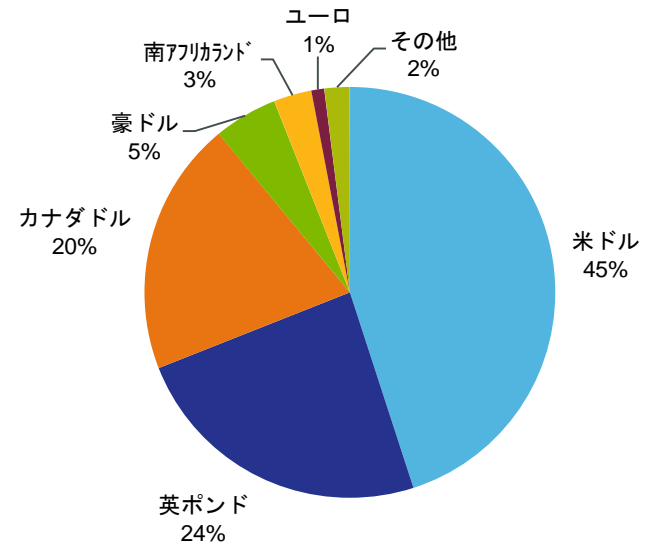
ファンドについて

地域別構成比



\*オーストラレーシアとは、オーストラリア・ニュージーランドおよびその近海の諸島の総称です。

通貨別構成比



※投資対象ファンドの各地域別比率と資産構成比率をもとに計算し合算したものです。四捨五入の関係で合計が100にならない場合があります。

※地域の区分方法は各投資対象ファンドにより異なります。各投資対象ファンドの地域別比率を合算しているため、表示されている国・地域が重複して記載される場合があります。

※上記比率は過去のものであり、将来の組入比率等を示唆するものではありません。

※投資対象ファンドの各通貨別比率と資産構成比率をもとに計算し合算したものです。四捨五入の関係で合計が100にならない場合があります。

※「その他」に含まれる通貨は各投資対象ファンドにより異なります。各投資対象ファンドの上位組入通貨を合算しているため、表示されている個別通貨が「その他」に含まれる場合があります。

※上記比率は過去のものであり、将来の組入比率等を示唆するものではありません。

# 投資リスク

ファンドのリスク・お申込みメモ

## 基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組入れられている有価証券の値動きの他、為替変動による影響を受けます。これらの信託財産の運用により生じた損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。したがって、当ファンドは元金および元金からの収益の確保が保証されているものではなく、基準価額の下落により投資者は損失を被り、元金を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。当ファンドにかかる主なリスクは以下の通りです。

### ● エネルギー関連株、鉱山株および金鉱株投資のリスク

当ファンドの投資対象ファンドは、世界各国のエネルギー資源の採掘・開発等を行う企業の株式および鉱物資源・金の採掘・精練等を行う企業の株式を主要投資対象とします。したがって、エネルギー需要の変動や鉱物資源・金の市場動向および組入株式の発行会社の経営・財務状況等に応じて組入株式の株価および配当金の変動し、当ファンドの運用成果に影響を与えます。

### ● 特定業種への投資のリスク

当ファンドの投資対象ファンドは、エネルギー資源や貴金属・一般非鉄金属（銅、アルミ、ニッケル、錫、亜鉛、鉛等）の採掘・精練等を行う企業の株式を主要投資対象とします。資源企業という特定業種への集中投資を行うため、より広い業種に分散して投資する場合と比較して特定業種の動向の影響を大きく受け、結果として基準価額の値動きが大きくなる可能性があります。

### ● 為替変動リスク

当ファンドの基準価額は円建てで表示されます。一方、当ファンドは外貨建ての投資信託証券に投資を行い、当該投資信託証券に対して為替ヘッジを行いません。また、当ファンドが投資する投資信託証券は、外貨建資産に投資を行います。したがって、為替レートの変動が当ファンドの運用成果に影響を与えます。

### ● 中小型株式投資のリスク

当ファンドの投資対象ファンドは、株式市場平均に比べ株式時価総額の小さな企業の株式にも投資することができます。これらの企業の株式への投資は、株式市場の全体の平均に比べて結果としてより大きな値上がりもしくは値下がりとなる可能性があります。これは比較的規模の小さい企業は大規模の企業に比べ収益の変動が大きくなる傾向があることに加え、株式市場における需給関係の変動の影響を受けやすいためです。

### ● カントリー・リスク

当ファンドの投資対象ファンドは、エマージング（新興）市場の発行体が発行する株式にも投資します。エマージング諸国の経済は、先進諸国に比べて不安定であり、その株式市場を取り巻く社会的・経済的環境はより不透明な場合が多く、エマージング諸国の政府は自国経済を規制または監督する上で大きな影響力を行使することがあります。したがって、主として先進国市場に投資する場合に比べて、投資先の国の政治・経済事情、通貨・資本規制等の要因により、より大幅に株価が変動することが考えられ、それに伴い当ファンドの運用成果に影響を与えます。

# 投資リスク

ファンドのリスク・お申込みメモ

## ● デリバティブ取引のリスク

当ファンドの投資対象ファンドは、先物・オプション取引などのデリバティブ取引を用いることができます。このような投資手法は運用の効率を高めるため、または証券価格、市場金利、為替等の変動による影響から投資対象ファンドを守るために用いられます。デリバティブ取引を用いた結果、コストとリスクが伴い、当ファンドの運用成果に影響を与えます。また、デリバティブ取引は必ず用いられるわけではなく、用いられたとしても本来の目的を達成できる保証はありません。

## その他の留意点

当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。

## リスクの管理体制

委託会社ではリスク管理を重視しており、独自開発のシステムを用いてリスク管理を行っております。具体的には、運用担当部門とは異なる部門においてファンドの投資リスクの計測・分析、投資制限のモニタリングなどを行うことにより、ファンドの投資リスクが運用方針に合致していることを確認し、その結果を運用担当部門にフィードバックするほか、社内関係者で共有しております。また、委託会社の業務に関するリスクについて社内規程を定めて管理を行っております。

# 当ファンドに係るファンドの費用

ファンドのリスク・お申込みメモ

## 投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入受付日の翌営業日の基準価額に <b>3.675%*(税抜3.50%)</b> を上限として、販売会社が独自に定める率を乗じて得た額。 詳細は販売会社にお問い合わせください。 *平成26年4月1日以降、消費税率が8%になった場合は3.78%となります。
信託財産留保額	ありません。

## 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に対して <b>年1.8165%*(税抜1.73%)</b> の率を乗じて得た額 ※運用管理費用(信託報酬)は毎計算期末、または信託終了のときファンドから支払われます。 ※投資対象ファンドにかかる報酬相当額は、委託会社の信託報酬より支払われます。 *平成26年4月1日以降、消費税率が8%になった場合は年1.8684%となります。	
	運用管理費用の配分	(委託会社) 年0.8400%* <sup>1</sup> (税抜0.80%)
		(販売会社) 年0.9450%* <sup>2</sup> (税抜0.90%)
		(受託会社) 年0.0315%* <sup>3</sup> (税抜0.03%)
<p>*<sup>1</sup> 平成26年4月1日以降、消費税率が8%になった場合は年0.8640%となります。</p> <p>*<sup>2</sup> 平成26年4月1日以降、消費税率が8%になった場合は年0.9720%となります。</p> <p>*<sup>3</sup> 平成26年4月1日以降、消費税率が8%になった場合は年0.0324%となります。</p>		
その他の費用・手数料	目論見書の作成費用、運用報告書の作成費用、ファンドの財務諸表監査に関する費用等の諸費用について、ファンドの純資産総額の <b>年0.105%*(税抜0.10%)</b> を上限として、ファンドから支払うことができます。 信託事務の処理に要する諸費用、外貨建資産の保管費用等についてファンドから支払われます。また、投資対象ファンドに係る保管報酬および事務処理に要する諸費用が別途投資対象ファンドから支払われます。 ※その他の費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。 *平成26年4月1日以降、消費税率が8%になった場合は年0.108%となります。	

※当該手数料および費用等の合計額については、ファンドの保有期間等に応じて異なりますので表示することができません。

※購入時手数料、運用管理費用(信託報酬)およびその他の費用・手数料は、消費税および地方消費税に相当する金額を含みます。

# 当ファンドに係るファンドの税金

ファンドのリスク・お申込みメモ

- ・税金は表に記載の時期に適用されます。
- ・以下の表は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。

時 期	項 目	税 金
分 配 時	所得税および地方税	配当所得として課税されます。 普通分配金に対して20.315%
換 金 ( 解 約 ) 時 及 び 償 還 時	所得税および地方税	譲渡所得として課税されます。 換金(解約)時および償還時の差益(譲渡益)に対して20.315%

※少額投資非課税制度「愛称:NISA(ニーサ)」をご利用の場合

NISAをご利用の場合、毎年、年間100万円の範囲で新たに購入した公募株式投資信託等から生じる配当所得および譲渡所得が5年間非課税となります。ご利用になれるのは、満20歳以上の方で、販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

※法人の場合は上記とは異なります。

※税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

## 委託会社、その他の関係法人の概況

委託会社: **ブラックロック・ジャパン株式会社**  
(信託財産の運用の指図等を行います。)

受託会社: **三井住友信託銀行株式会社(再信託受託会社:日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)**  
(信託財産の保管・管理・計算等を行います。)

販売会社: 受益権の募集の取扱いおよび販売、投資信託説明書(交付目論見書)の交付、信託契約の一部解約に関する事務、収益分配金の再投資に関する事務、一部解約金・収益分配金・償還金の支払いに関する事務等を行います。

## お申込みメモ

ファンドのリスク・お申込みメモ

信託期間	無期限(設定日:平成19年12月21日)
購入の申込期間	平成26年2月21日から平成26年8月20日まで ※期間満了前に有価証券届出書を提出することによって更新されます。
購入単位	分配金の受取方法により、一般コースと累積投資コースの2つのコースがあります。 取扱いを行うコースおよび購入単位は、各販売会社により異なります。 詳細は販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入受付日の翌営業日の基準価額
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払いください。
繰上償還	当ファンドは換金により受益権の口数が30億口を下回ることとなった場合、または投資者のため有利と認められる場合、その他やむを得ない事情が発生したとき等には、信託期間の途中でも信託を終了(繰上償還)させる場合があります。
決算日	2月20日、5月20日、8月20日、11月20日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	毎決算時に収益分配方針に基づき分配します。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。 一般コース:収益分配金は決算日から起算して5営業日以内からお支払いいたします。 累積投資コース:収益分配金は税引後、全額自動的に再投資されます。
換金単位	換金単位は、各販売会社により異なります。詳細は販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	換金代金は原則として、換金受付日から起算して7営業日目から販売会社においてお支払いします。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。 配当控除または益金不算入制度の適用はありません。

※ルクセンブルグ証券取引所の休場日、ルクセンブルグの銀行の休業日、12月24日、その他投資対象ファンドの受付不可日のいずれかに該当する場合は、販売会社の営業日であっても購入・換金は受け付けません。



## 当資料に関してご留意いただきたい事項

お申込みの際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)および目論見書補完書面の内容をご確認ください。

- 当資料は、当ファンドの特色や投資対象、リスク要因および留意点についてご理解を深めていただく目的でブラックロック・ジャパン株式会社が作成した販売用資料です。
- 当ファンドの基準価額は、当ファンドに組入れられている有価証券等の値動きの他、為替変動による影響を受けませんが、これらの運用による損益はすべて投資家の皆様に帰属いたします。元金が保証されているものではありません。
- 当ファンドは、預貯金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また販売会社が登録金融機関の場合、投資者保護基金の対象にはなりません。
- 当ファンドを取得される場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しいたしますので、必ず内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 本資料はブラックロック・ジャパン株式会社が信頼できると判断した資料・データ等により作成いたしました。その正確性および完全性について保証するものではありません。また使用されるデータ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。
- 本資料の内容は作成日時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

### <当資料で使用したデータの著作権について>

- MSCIワールド・エネルギー・インデックスは、MSCI Inc.が開発、計算した株式指数です。同指数に関する著作権、知的財産その他の一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。
- ユーロマネー・グローバル・マイニング・インデックスとは、世界の金属・鉱物採取関連企業で構成される株価指数です。
- FTSE金鉱業株インデックスとは、金鉱業を主な事業とする企業の株式の世界市場でのパフォーマンスを評価します。FTSEの指数(インデックス)は、いずれもFTSEの商標であり、そのあらゆる権利はFTSE及び/又は、その許諾者に帰属します。すべての情報は、参考のために提供されるだけです。FTSEは、FTSEの指数又はその基礎データのいかなる誤りもしくは欠落等に関して一切責任を負うものではありません。

**BLACKROCK®**